

Q1 資格を取ると何に使えますか？

A1
講座で認定する資格は、星や宇宙そして
星空案内のやり方について一通り学びましたとい
う段階です。つまり、星空案内人のスタート地点
に立った、というものです。
資格取得後にさらに学習したり星空案内の経験を
積むことで、天体観望会を企画・開催する方も多
くおられます。
また実施団体が主催する有料ガイドツアーのスタ
ッフになるケースもあります。

Q2 星空案内人資格認定講座はどんな
団体が行っているのですか？

A2
星空案内人制度の考えに賛同した
科学館や団体などが、星のソムリエ機構の認定を
受けて、制度に沿って講座や講座を開催していま
す。このような団体を『実施団体』と呼び、全国
各地にあります。
各実施団体では、星の学習や実技の習得・試験に
本制度を導入することで、天体観望会などで活躍
する質の高いスタッフの育成に活用しています。

Q3 資格取得はしないけど星や宇宙
について勉強したいときは？

A3
この講座はこれまで、星や宇宙に興味があるたく
さんの方にご受講いただいています。知識に自信
がない方も、ちょっと興味があるだけなんだけ
ど・・・という方も、幅広い年齢や経歴の方と共
に受講されることで、楽しく知識を深めることが
できる講座です。気軽にお申込みください。

Q4 認定講座は全てを一度に受講
しなければいけませんか？

A4
1期で必ず全ての受講を完了しないと
いけないということはありません。少しずつ受講
し、単位を取得して、2～3年をかけて資格認定
を受けることもできます。引越しの場合は、他
の実施団体が開催する講座で足りない科目を受け
て資格を取得することもできます。

沿革



- 2003年 山形大学の「やまがた天文台」で星空案内人制度仮運用の開始
- 2006年 JSTモデル事業により本格運用開始
- 2007年 全国での試験運用開始
- 2008年 新制度で全国8団体での運用開始
運営委員会により制度を運営
- 2010年 平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰
「星のソムリエ資格認定制度創設と全国普及による科学理解増進」
- 2012年 制度の運営を星空案内人制度運営機構に移転
- 2021年 日本天文学会より天文教育普及賞を受賞
- 2023年 制度の運営を特定非営利活動法人星のソムリエ機構に移転

星のソムリエ機構は、制度の維持管理や改訂、実施団体へのサポート、総合窓口の運営を担い、制度の信頼性を支えています。一方、講座を主催する実施団体は、共通の認定基準や規則を遵守しながらも、地域の特色や施設の強みを活かした創意工夫を凝らして、それぞれの責任において魅力ある講座を運営しています。

特定非営利活動法人

星のソムリエ機構

〒990-0832 山形市城西町五丁目6番8号

機構ホームページ：<https://star-sommelier.sakura.ne.jp/>
機構問い合わせEmail：kiko@star-sommelier.org



星のソムリエ機構



星空案内人制度

★星のソムリエ®★ 星空案内人 資格認定制度

The Qualification System for The Astronomy Guide



季節や料理に合わせておいしいワインを選んだり
楽しい会話でテーブルを盛り上げてくれるワインのソムリエのように
季節や場所に合わせて星空の楽しさを伝えたり
その場にいる皆さんの好みに合わせて星空や宇宙の話をするのが
「星空案内人」(星のソムリエ®)です。

特定非営利活動法人 星のソムリエ機構

星空案内人資格認定制度とは？



「星・宇宙が好き」という気持ちを持つ誰もが星空案内人になれるように導いてくれるのが星空案内人(星のソムリエ®)資格認定制度

この制度によって多くの人々が星・宇宙に触れ、その文化を普及することを目指します。そのためふさわしい認定基準を設けて、全国同じ基準で資格認定を行なっています。星や宇宙の知識や望遠鏡の操作の技能を認定するものではなく、「Happy二乗の法則」の心で、星や宇宙が好きな誰もが星空案内人になることへの1歩を踏み出すためのものです。



Happy二乗の法則

1つ目のHappyは、講座で星空や宇宙の知識や望遠鏡の扱いなどを学ぶこと。未知の世界を知り、視野が広がることはとても楽しいです。そして2つ目のHappyは、学んだことを誰かに伝え、その方に喜んで頂けること。「学ぶ楽しさ」「伝える楽しさ」。このHappyが掛け合わさることが星空案内人の魅力であり、星空案内人としての大切な「心」です。

星空案内人資格は2段階！（2段階ロケット方式）

資格は「準案内人」と「星空案内人」の2段階です。まずは講座を通じ「準案内人」を取得。その後、実技経験を積んで「星空案内人」へステップアップを目指します。どちらの段階でも「星のソムリエ」としてその名称を名乗り活動することができます。
※「星のソムリエ®」は「星空案内人」の愛称で、星のソムリエ機構の登録商標です。

星空案内人(準案内人)

The Astronomy Guide (Associate Guide)



ひとつおりの勉強が終った段階です。必修3科目の受講と指定2科目の合格、選択4科目中3科目以上を受講することで「準案内人」に認定されます。この後、実技科目の練習を行ないます。

星空案内人

The Astronomy Guide



天体観望会などの場で、自分自身で星空案内を計画・実施できるようになった段階が「星空案内人」。必修科目全ての合格、選択4科目のうち3科目以上を合格することで「星空案内人」に認定されます。

この制度は、単に「資格を取得する」ことだけを目的としたものではありません。講座を通じて星空案内に必要な知識の体系を知り、実技を重ねて技能を磨くことで、案内人としての土台を築くことを目指します。つまり資格の取得は、一定の知識と技能を備えていることが公式に認められたという「証(あかし)」なのです。

とはいえ、資格を取得してすぐに完璧な案内ができるわけではありません。資格取得はあくまで新たな一歩。そこから実施団体が掲げる理想の姿を目指したり、自分自身がなりたい案内人像を描いたりしながら経験を積むことで、誰もが自分らしい「星空案内人」へと成長していくことができるのです。



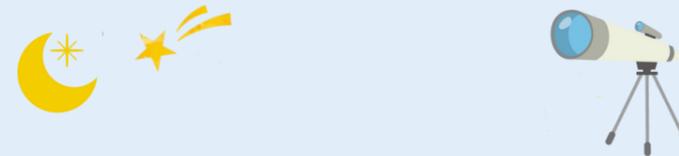
認定講座開講科目と星空案内人資格要件

該当する科目の授業に出席し、各科目に定められた認定基準に合格するとその科目の単位が取得できます。

必修科目		準案内人	星空案内人
「さあ、はじめよう」	講義科目	単位取得	
「望遠鏡のしくみ」	講義科目	単位取得	
「星空案内の実際」	実技科目	受講	単位取得
選択科目			
「宇宙はどんな世界」	講義科目	3科目以上 受講	3科目以上 単位取得
「星空の文化に親しむ」	講義科目		
「星座を見つけよう」	実技科目		
「望遠鏡を使ってみよう」または「プラネタリウムを使ってみよう」	実技科目		

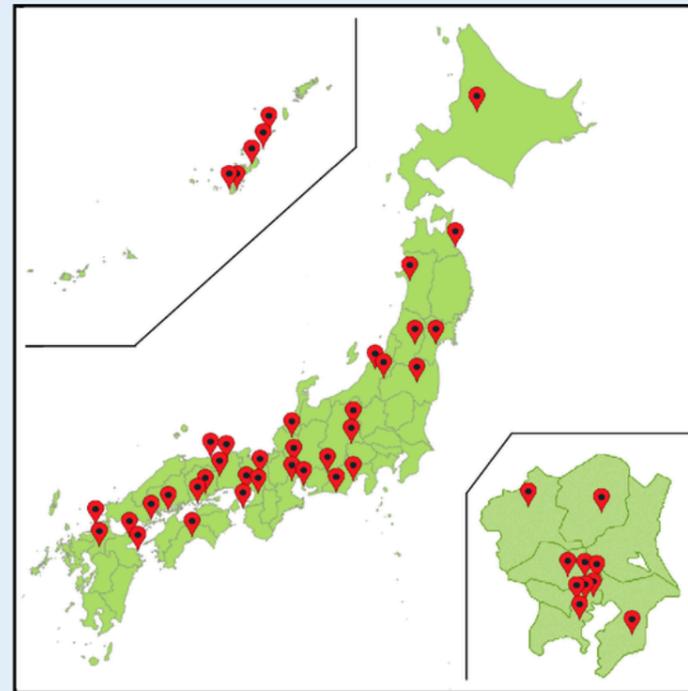


※講義科目の単位取得には、講座出席と単位認定レポートの合格が必要です。
※実技科目の単位取得には、講座出席と単位認定チェックシートによる実技試験の合格が必要です。
※準案内人、星空案内人の資格要件を満たした方は、講座主催者から資格認定を受けられます。認定されると、「認定書」や「認定証」などが実施団体から授与されます。



全国の実施団体

(2026年2月現在)



本制度の実施団体の講座開催情報は右のQRコードから確認できます。